

# 2026年12月期 第2四半期 決算説明資料

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社  
証券コード：3788（東証プライム）

# 目次

- 01 | エグゼクティブサマリー
- 02 | 事業ポートフォリオとAI戦略
- 03 | 2026年12月期 第2四半期決算実績
- 04 | 注力商材の状況

電子認証事業・SSL・クライアント認証 (GlobalSign)

ログイン認証強化サービス (GMOトラスト・ログイン)

電子契約サービス (電子印鑑GMOサイン)

マネージドクラウドサービス (CloudCREW byGMO)

# エグゼクティブサマリー

## 業績

前年同期比(累計) 売上11.5%増  
営業利益1.5%減・経常利益9.4%増・当期純利益18.6%増

## 事業

GMOトラスト・ログイン、GMOサイン、CloudCREW byGMOは  
前期に引き続き高成長を維持

## 戦略

高まるAI需要に伴い、AI循環成長モデルを遂行  
規律ある事業ポートフォリオの見直しを実施



# 事業ポートフォリオとAI戦略

# 事業ポートフォリオ | 資本配分の規律

事業ポートフォリオの定期的な見直しにより資本を成長領域へ再配分し、事業を入れ替え

## 【売却】 GMOデジタルラボ株式会社

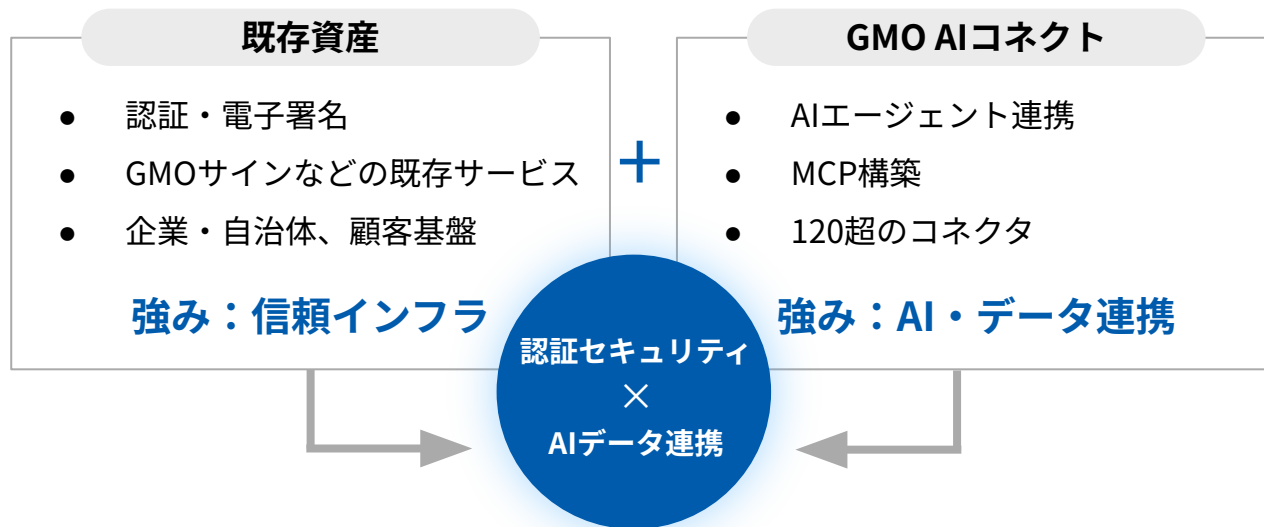
AIネイティブな販促サービスへの成長ポテンシャルはあるが、当社の事業ポートフォリオとは適合しないと判断し売却。

## 【投資】 GMO AIコネクト株式会社

「信頼を設計する」事業領域として、AIで安全にデータを連携させる基盤に投資。  
2026年3Qより連結PLに取込

事業の選択と集中を通じて、資本効率と事業成長性の両方を高める

# GMO AIコネクト社のグループジョインによるシナジー効果



安全なAI社会実装を加速し、クロスセル・継続収益・企業価値向上を目指す

## ①既存サービスの進化

AIエージェント対応したサービスへ

## ②顧客価値の拡大

安全な業務自動化とシステム横断連携の実現

## ③成長領域への参入

AIエージェント・MCP市場で新収益機会

## ④認証×AIで信頼創造

“信頼”と“AI・データ連携”による信頼インフラ

# SaaSがAIエージェント対応、活用の深化が新たな販路に

「GMOトラスト・ログイン」「電子印鑑GMOサイン」がMCP対応、  
AIエージェントに組み込まれるSaaSへ



① **GMOトラスト・ログイン**（2026年4月～提供、国内IDaaS初）  
AIがID・SaaS利用状況を横断把握し、退職者アカウント対策や棚卸しを自動化。上位プラン利用者向け機能としてアップセルの起点にもなる

② **電子印鑑GMOサイン**（2026年秋ごろ提供予定）  
MCPサーバー提供により、AIエージェントから契約業務を直接操作可能に。急拡大するAIエージェント市場（2025年79億ドル→2035年2,947億ドル、Precedence Research）の入口に立ち、新規顧客との接点を広げる

**SaaSがAIと直接つながり、新たな価値を創造。  
既存顧客の活用深化と新規獲得を同時に実現する**

# GMOサインMCP・AI連携で実現できる3つのこと

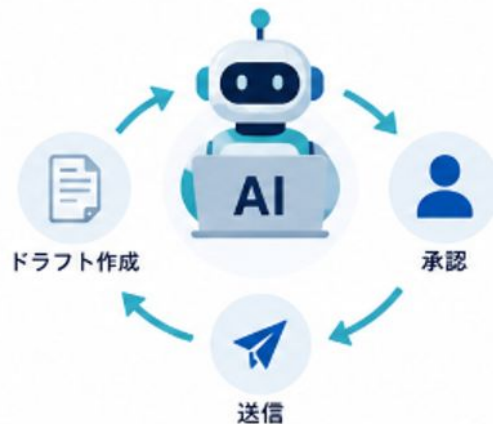
1

契約書は  
「単なる証拠文書」から  
「知能を持つ資産」に



2

AIエージェントにより  
契約業務を自動化



3

あらゆる業務SaaSと  
契約データが直結



# GMO AIコネクト社について

## AIを起点に、企業がテクノロジーを使いこなす力に変える

AIとSaaSをつなぐ

**JOINT *Ai* Flow**  
by **GMO**

AIとデータをつなぐ環境構築をノーコードで実現

AIエージェント  
を  
「つくる」

既存システム  
・ SaaSに  
「つなげる」

SaaS事業者向け

AIを組み込んで  
顧客に  
「提供する」



主要なSaaS**120以上**に対応、ノーコードでMCP接続

マネーフォワードクラウド / Freee / box / Collaboflow /  
SmartHR / Microsoft Teams / Googleなど

SaaS導入で仕事を効率化する

ORACLE  
**NetSuite**  
Alliance Partner

クラウド型ERP「Oracle NetSuite」を中心に、SaaSの導入を支援します。要件定義～稼働支援に加え、個別カスタマイズや保守まで一気通貫で伴走します。

コンサル  
タントが  
伴走

開発から  
導入まで

あらゆる  
企業規模・業  
種に対応



# 2026年12月期 第2四半期決算実績

## 重点商材、CloudCREWは前期に引き続き高成長を維持 電子認証、海外売上の期ずれにより減益

### 売上高（累計）

**11,091** 百万円

前年同期比 **11.5%増**

### 営業利益（累計）

**585** 百万円

前年同期比 **1.5%減**

### 経常利益（累計）

**632** 百万円

前年同期比 **9.4%増**

### 重点商材売上高

GMOトラスト・ログイン

**31.1%増**

電子印鑑GMOサイン

**30.6%増**

※前年同期比(累計)

売上・利益

| (百万円)               | 2025年Q2実績 | 2026年Q2実績 | 前年同期比  | 2026年通期予想 | 進捗率   |
|---------------------|-----------|-----------|--------|-----------|-------|
| 売上高                 | 9,944     | 11,091    | +11.5% | 22,286    | 49.8% |
| 営業利益                | 593       | 585       | △1.5%  | 1,622     | 36.0% |
| 経常利益                | 577       | 632       | +9.4%  | 1,589     | 39.7% |
| 親会社株式に帰属する<br>当期純利益 | 413       | 490       | +18.6% | 1,052     | 46.6% |
| EBITDA※             | 1,425     | 1,503     | +5.4%  | -         | -     |

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値。前年度までは原価の減価償却費を含まず。今年度より原価の減価償却費を含めているため2025Q2実績値も修正しています。

# 売上・利益（セグメント別比較）

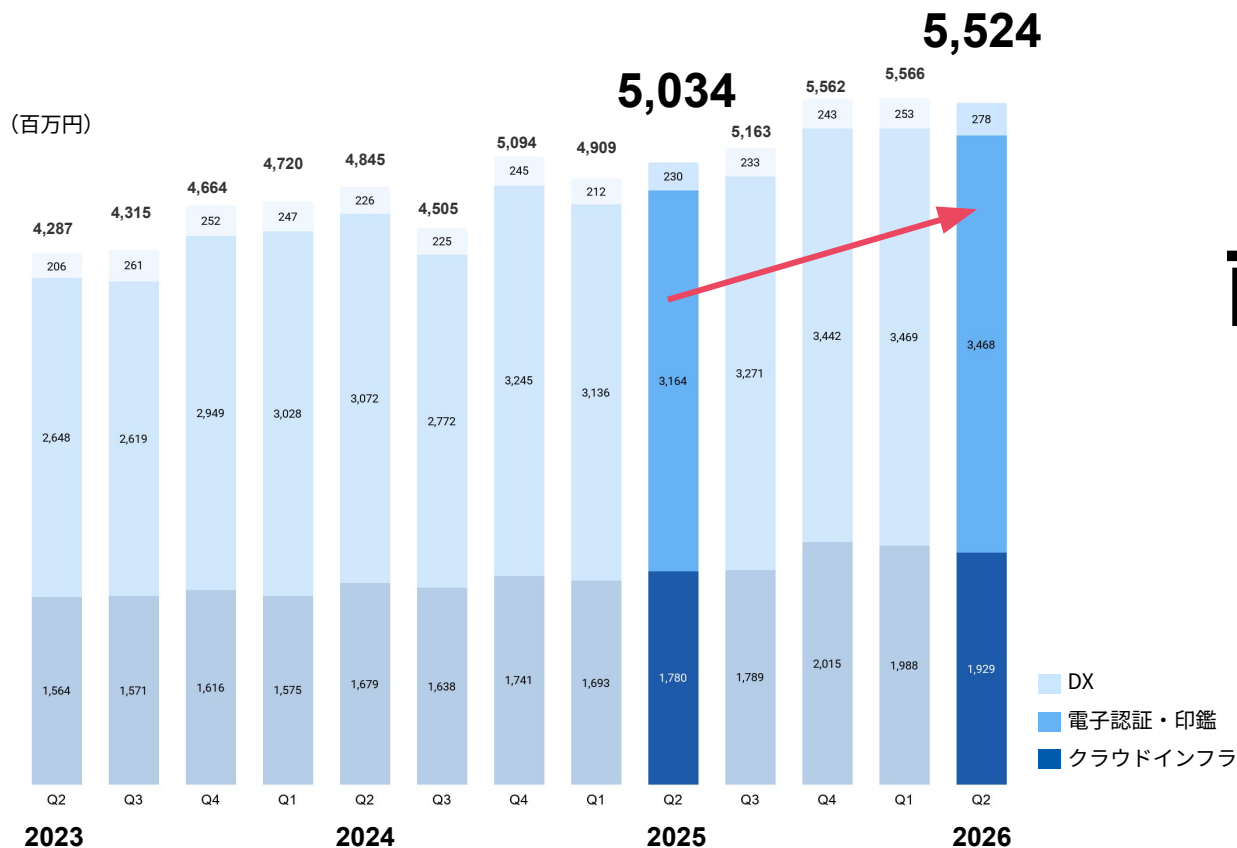
## 売上高

| セグメント        | 2025年Q2 | 2026年Q2 | 前年同期比  |
|--------------|---------|---------|--------|
| 電子認証・<br>印鑑  | 6,301   | 6,937   | +10.1% |
| クラウド<br>インフラ | 3,474   | 3,917   | +12.8% |
| DX           | 443     | 532     | +20.1% |
| 消去又は<br>全社   | △274    | △296    | —      |
| 連結計          | 9,944   | 11,091  | +11.5% |

## 営業利益

| セグメント        | 2025年Q2 | 2026年Q2 | 前年同期比  |
|--------------|---------|---------|--------|
| 電子認証・<br>印鑑  | 534     | 428     | △19.9% |
| クラウド<br>インフラ | 107     | 144     | +34.9% |
| DX           | △58     | △4      | —      |
| 消去又は<br>全社   | 11      | 16      | —      |
| 連結計          | 593     | 585     | △1.5%  |

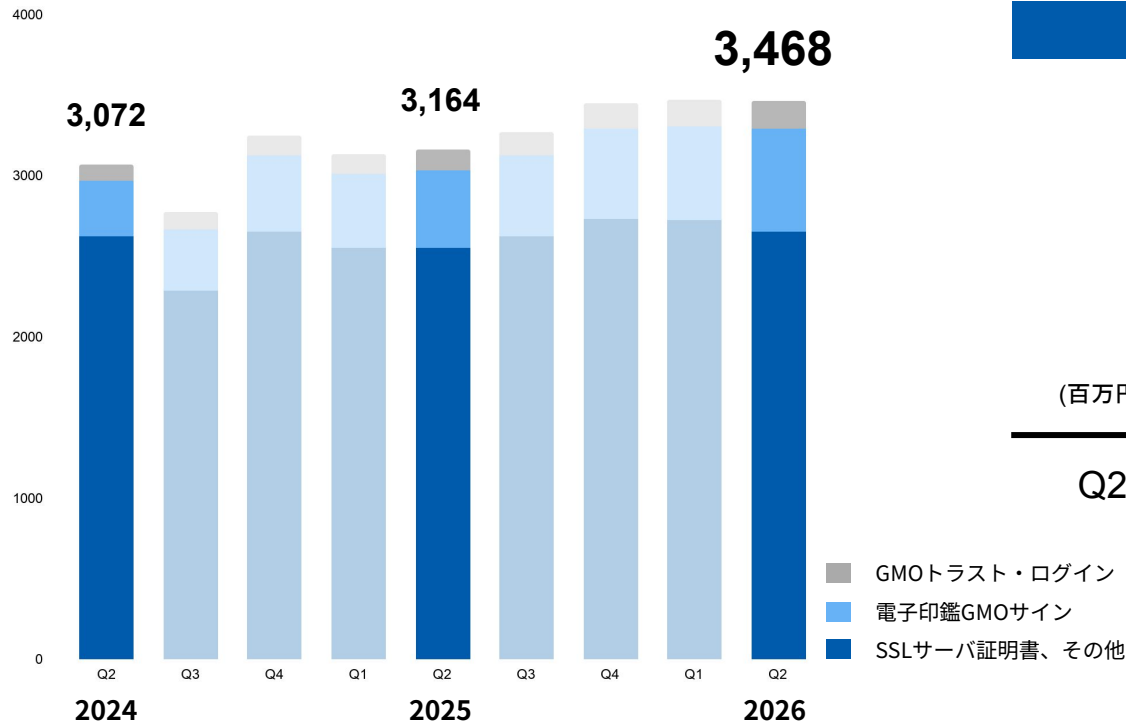
# 四半期売上高推移



前年同期比  
9.7%増

# 重点商材（電子契約、ログイン認証強化サービス）が順調に成長

(百万円)



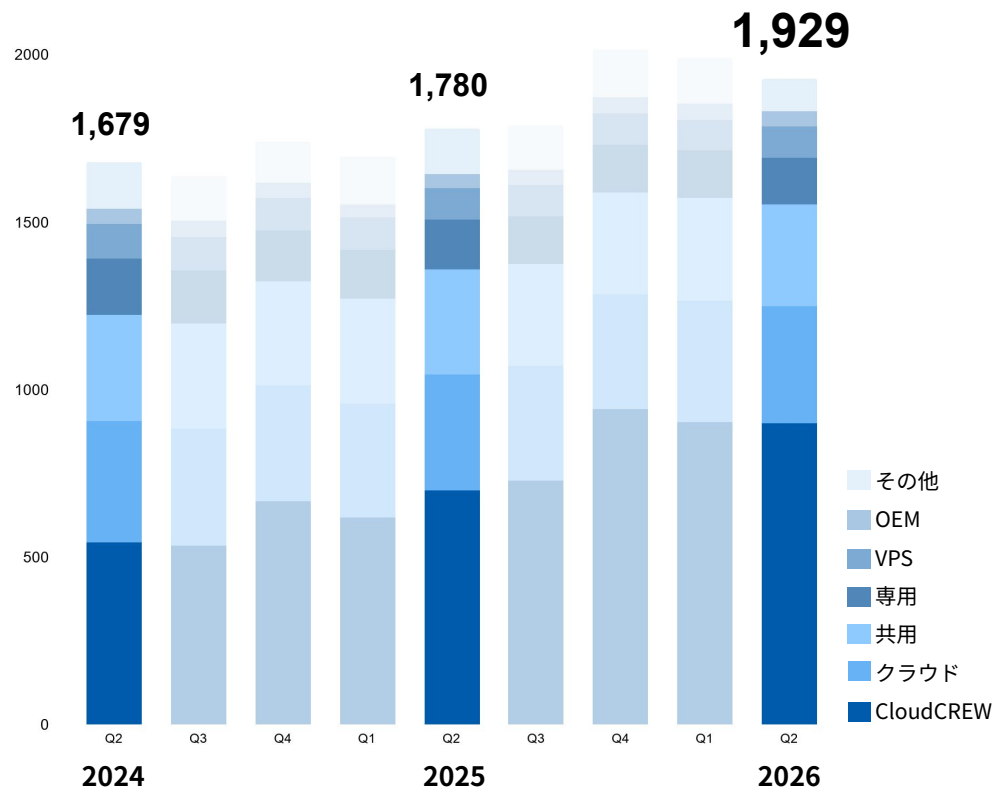
電子認証・印鑑事業 売上高

前年同期比  
**9.6%増**

| (百万円) | 2025  | 2026  | 増減率   |
|-------|-------|-------|-------|
| Q2    | 3,164 | 3,468 | +9.6% |

# 「CloudCREW byGMO」が高成長継続

(百万円)



クラウドインフラ事業 売上高

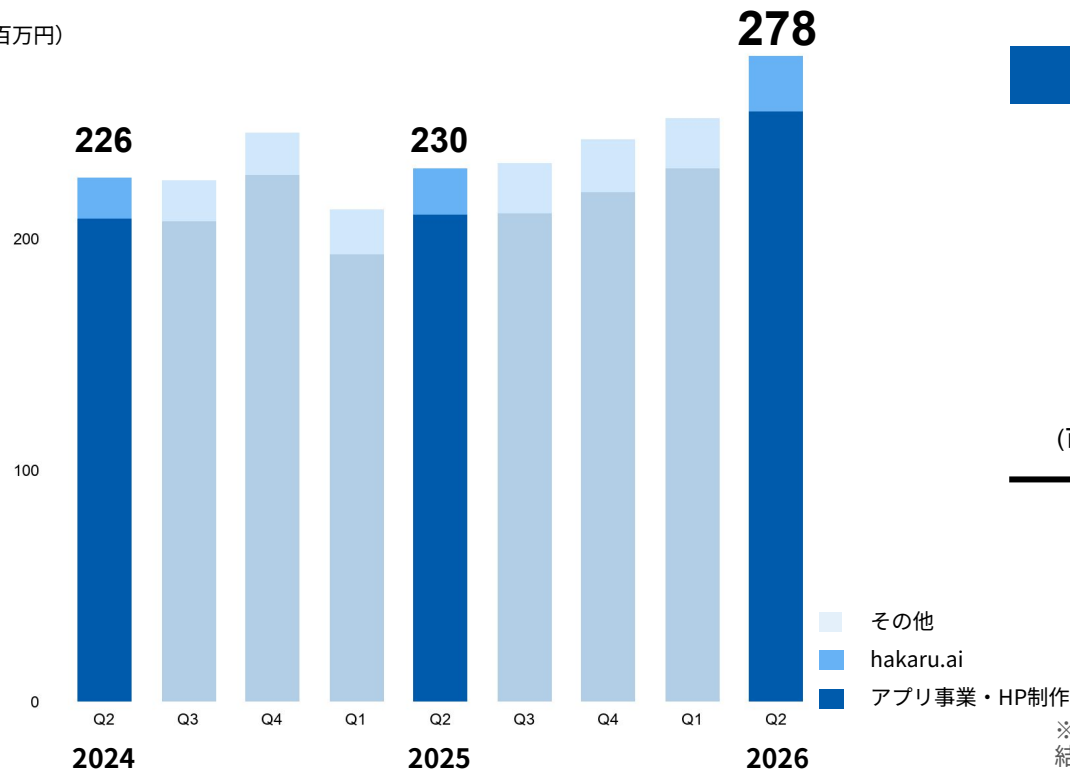
前年同期比  
**8.4%増**

| (百万円) | 2025  | 2026  | 増減率   |
|-------|-------|-------|-------|
| Q2    | 1,780 | 1,929 | +8.4% |

※クラウドインフラ事業における2026年12月期通期計画の修正予定は現時点ではありません

# 自治体や事業者が発行する紙の商品券をデジタル化するサービス 「GMOデジタルPay」の需要増で売上好調

(百万円)



DX事業 売上高

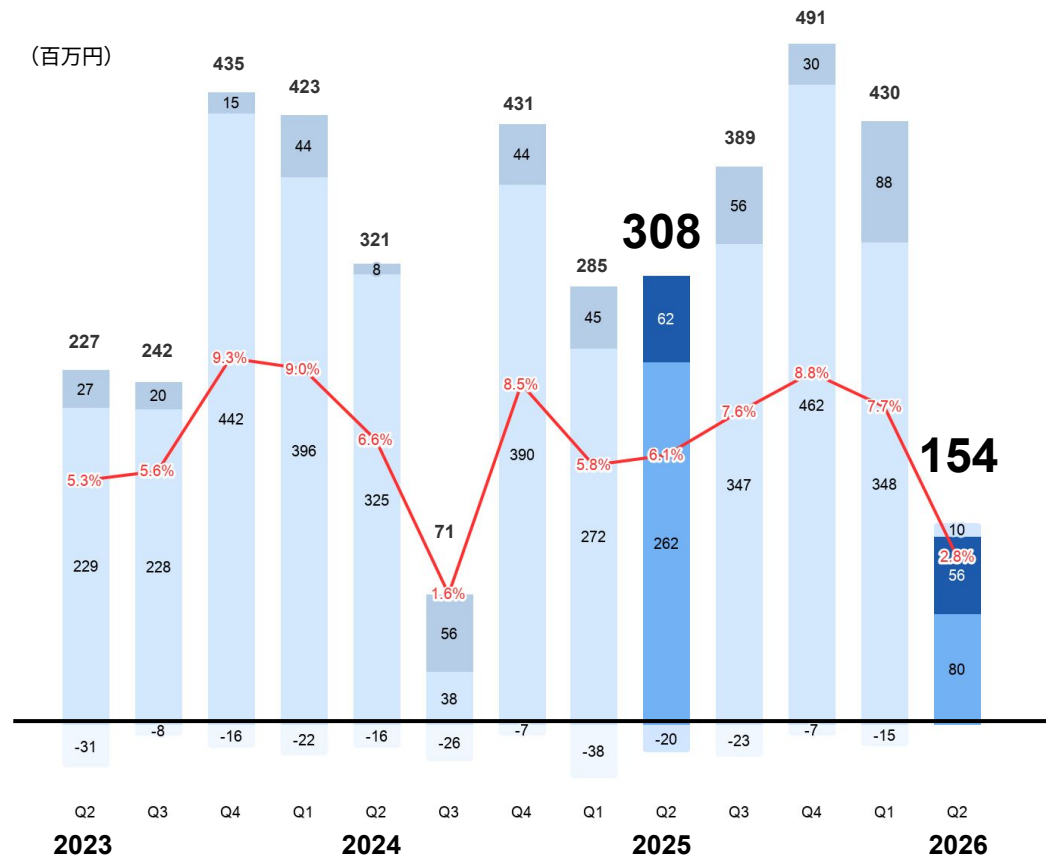
前年同期比  
**21.1%増**

| (百万円) | 2025 | 2026 | 増減率    |
|-------|------|------|--------|
| Q2    | 230  | 278  | +21.1% |

※GMOデジタルラボ社は全株式譲渡により第3四半期から当社の連結の範囲から除外。GMO AIコネク社がDXセグメントに追加。

# 四半期営業利益推移

(百万円)



## 前年同期比

# 50.0%減

電子認証事業にて利益減  
次ページにて詳細解説

- クラウドインフラ
- 電子認証・印鑑
- DX
- 売上高営業利益率

# 電子認証事業 | Q2補足

## 売上について

- **Q1/Q2の動向**：Q1の駆け込み需要（証明書有効期間短縮前）の反動により、Q2は前四半期比で調整局面
- **売上期ずれの要因**：海外一部大口顧客（長期契約）にて選択プランの変更が発生。期ずれ分の売上はQ4に計上見込み。長期契約に基づくトータル売上に影響なし

## コスト面について

- 費用削減・新規サービス（証明書ライフサイクルマネジメント等）に向けたシステム開発投資がQ2に集中し、一時的に費用が増加
- 開発費用の集中投下はQ2で一巡し、Q3以降は通常水準へ収束の見通し

一部サービスの値上げおよび新規大口顧客の獲得も順調のため、通期業績見通しは現状変更なし

# 注力商材の状況

- 電子認証事業・SSL・クライアント認証（GlobalSign）
- ログイン認証強化サービス（GMOトラスト・ログイン）
- 電子契約サービス（電子印鑑GMOサイン）
- マネージドクラウドサービス（CloudCREW byGMO）



## 電子認証事業・SSL・クライアント認証

---



# 証明書ライフサイクルマネジメント戦略



## 背景

- 国際的な機関にてSSLサーバ証明書の有効期限を短縮化することが決定。2029年には47日間に。  
→証明書の更新業務が約10倍に。



## 安全なインフラを絶やさない、 証明書のライフサイクルを管理する仕組みを提供

| 時期         | 証明書の最大有効期間 |
|------------|------------|
| ～2026/3/14 | 398日       |
| 2026/3/15～ | 200日       |
| 2027/3/15～ | 100日       |
| 2029/3/15～ | 47日        |

- 証明書のライフサイクルを管理するサービスを利用用途に合わせて、3つの形で提供（Windowsソフトウェア / SaaS / 証明書の可視化・管理サービス）
- サブスクリプション形式で契約期間内は証明書を無制限で発行できるライセンスを提供

# GMO顔認証eKYC、ICチップ読み取り型本人確認に対応。 犯収法改正による本人確認の厳格化（2027年4月施行）

## 従来の券面撮影

### ① スマホで本人確認書類を撮影



### ② スマホでセルフイー撮影



### ③ 2つの顔写真をマッチング

## 今回のICチップ読取

### ① アプリで本人確認書類の ICチップ読み取り



### ② アプリでセルフイー撮影

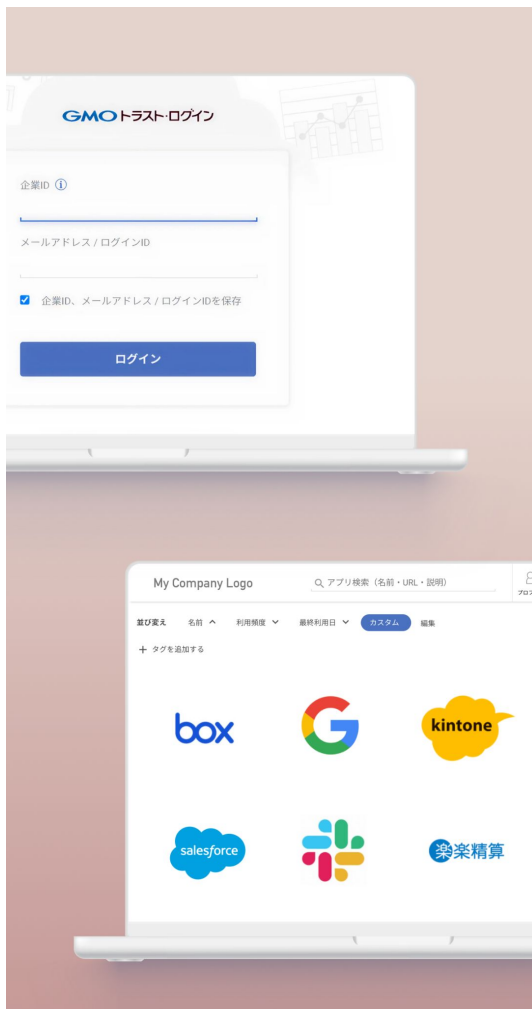


### ③ 2つの顔写真をマッチング

# 電子印鑑ソリューションDSS byGMOが、「テックサイン」と連携開始



- パートナーSaaS「テックサイン」への組み込みによる、間接販売チャネルの拡大
- 年間約15万件規模で稼働開始、API従量収益の伸びしろ
- ISO/IEC 17025等の厳格な認定要件への対応実績、規制業界への横展開力



## ログイン認証強化サービス

# GMOトラスト・ログイン

# “会社”の防御から、“サプライチェーン・グループ全体”の防御へ 守る範囲を「点」から「面」に拡大。利用者基盤の拡大を狙う

## ① サプライチェーンIDプロテクトプラン (2026年4月提供開始)

取引先・フランチャイズ加盟店・販売代理店など、社外ユーザーのID管理を開発不要で実現。SCS対策評価制度を背景に、サプライチェーン全体のセキュリティ強化ニーズに対応

## ② 組織間連携 (2026年8月提供開始、国内IDaaS初)

親会社の認証設定を子会社にそのまま展開。グループ内の「最も守りの弱い一社」をなくし、SaaSコストも削減

守るべき対象を自社単体から、取引先・グループ企業へと広げることで、契約単位そのものを拡大。ID管理の「面」を広げる機能強化が、利用企業数・ID数の拡大を牽引する

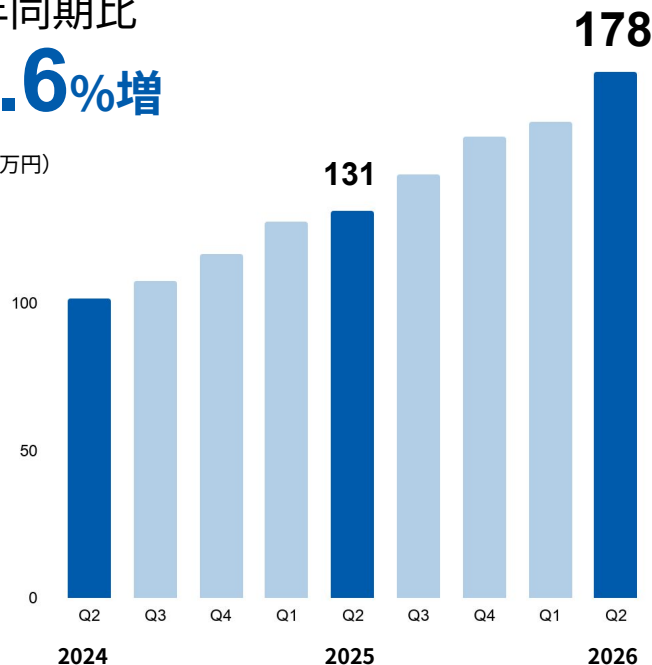
# 大口顧客獲得が続き好調

## 売上高

前年同期比

**35.6%増**

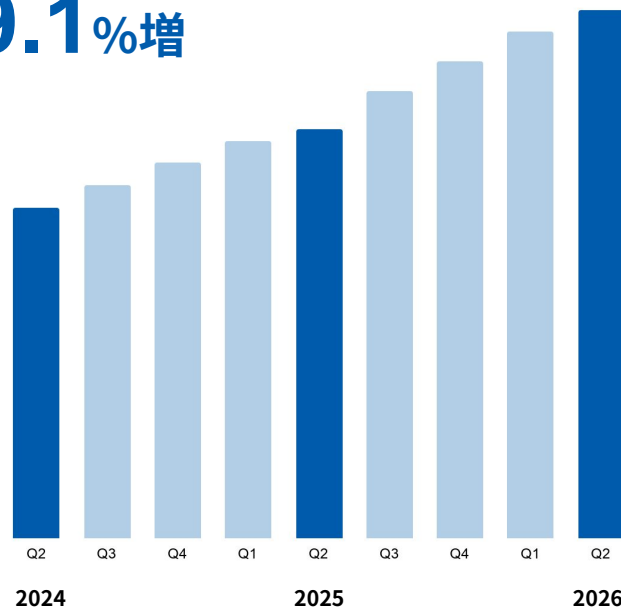
(百万円)



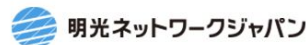
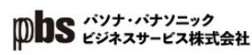
## 有料ID数

前年同期比

**29.1%増**

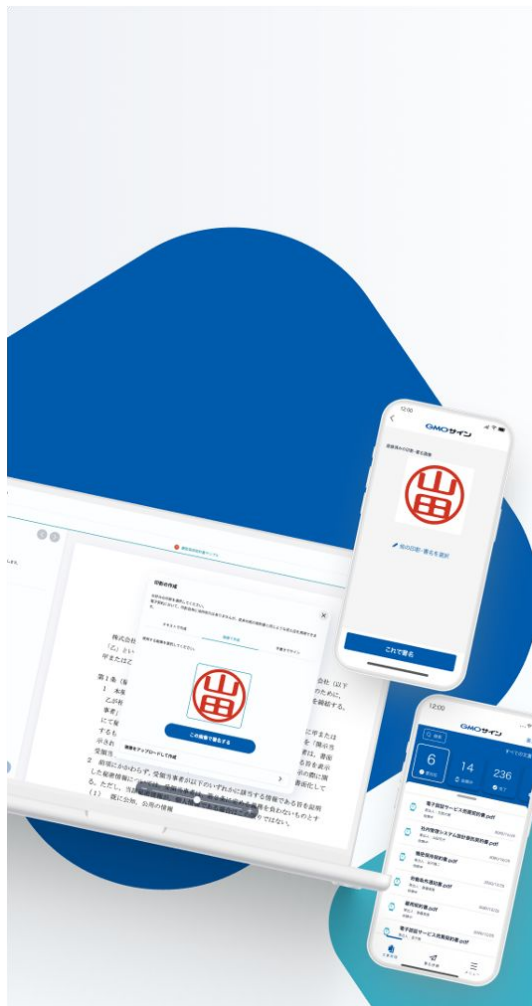


# 大企業から数十人規模まで、導入いただいています。



電子契約サービス

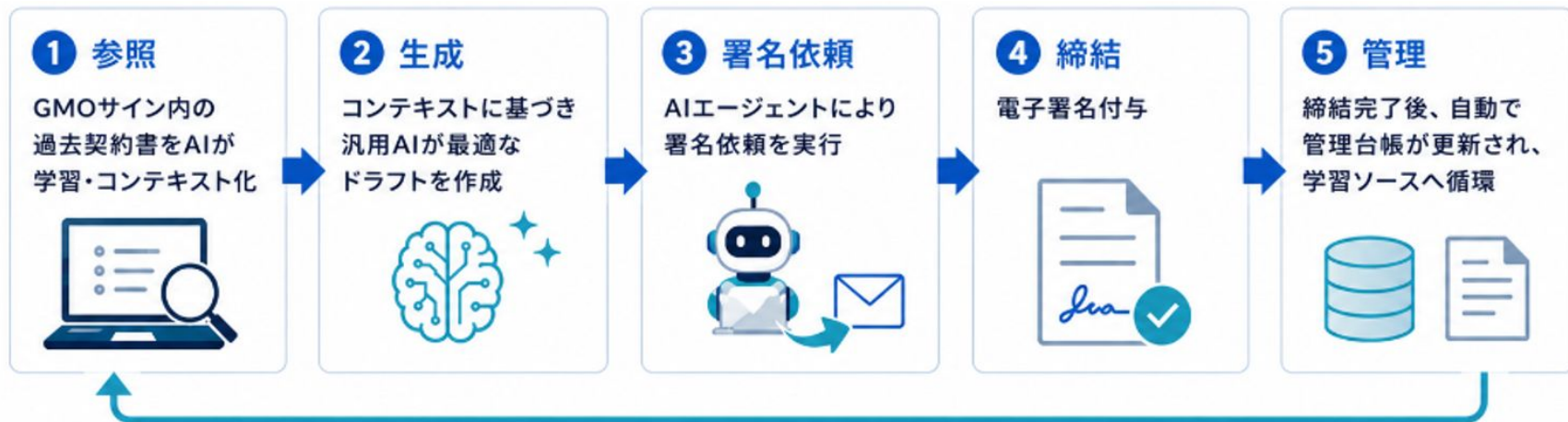
電子印鑑なら  
**GMOサイン**



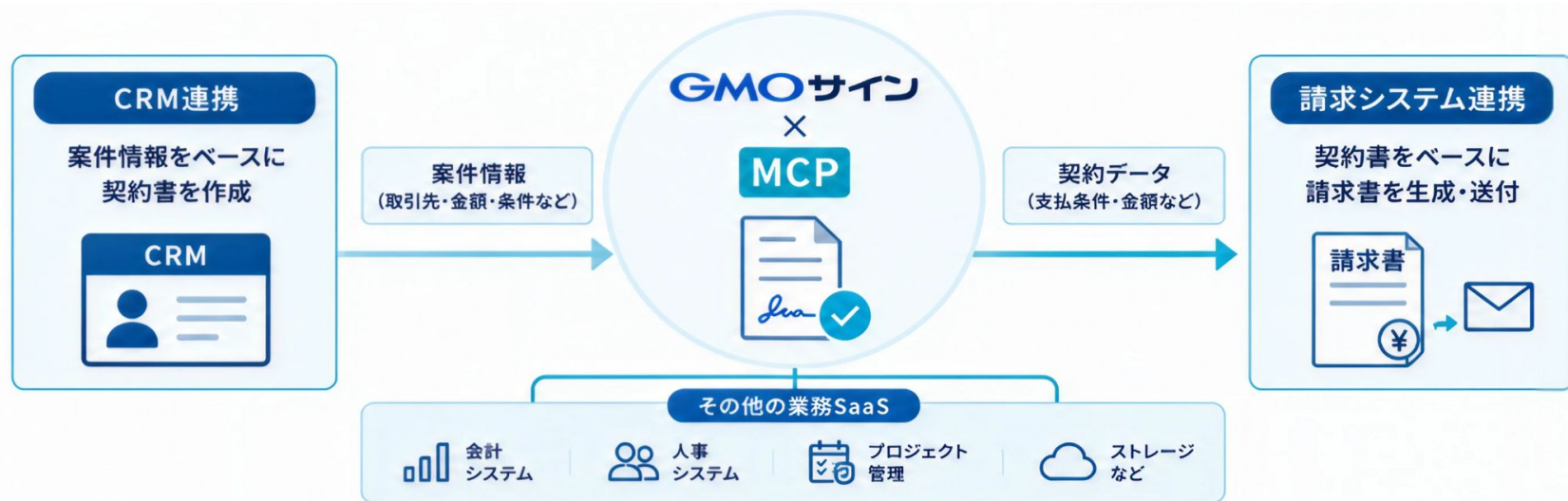
# サインMCPで実現する自動化

これまでの契約文書を「資産」に。

過去の契約書を元にAIエージェントがドラフト作成。これまでの契約業務を自動化。



# あらゆる業務データと契約データをつなぎ、AI時代の署名サービスへ



バックオフィスにおける「署名」をハブに業務全体の自動化を実現

# 自治体導入が拡大、公共分野での存在感を高める

電子契約導入済自治体のうち全国約40%の自治体が導入。  
契約業務から首長署名まで、公共インフラとしての採用が進む

## ① 茨城県／福井県（条例公布のデジタル化）

知事の職責付き電子証明書による電子署名で条例を公布。茨城県は法改正を国に提言した当事者であり、災害時にも迅速に公布できるBCP体制を構築

## ② 都城市（行政処分通知のデジタル化）

申請から処分通知の受領までをオンラインで一貫完結

## ③ 大田区（東京23区初のハイブリッド署名）

自治体側は厳格な当事者型、事業者側は簡便な立会人型を使い分け、ガバナンスと利便性を両立

## ④ 刈谷市ほか（FAST財務会計との連携）

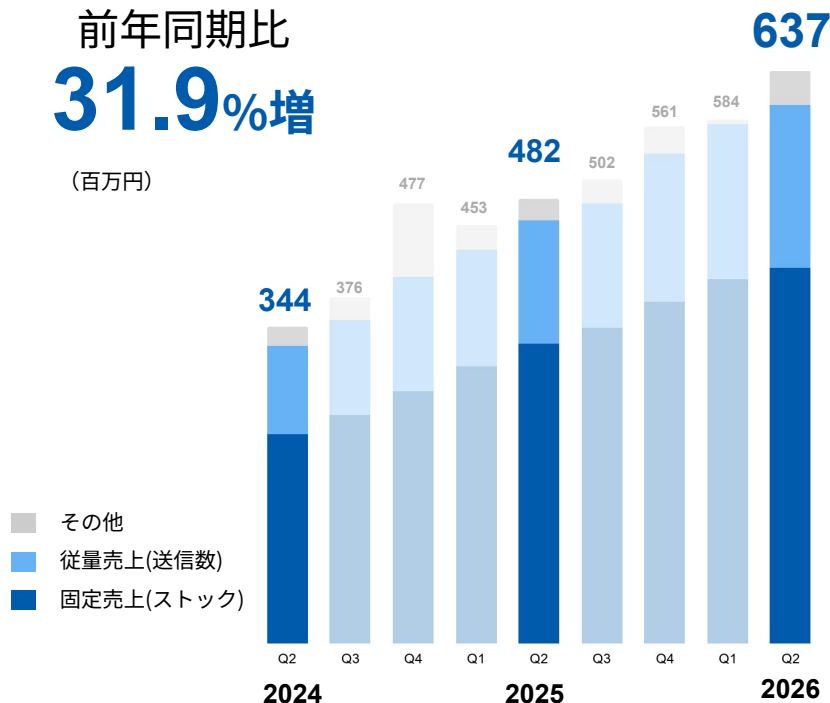
契約決定情報を自動連携し、自治体の契約業務を効率化

# 売上高、ARR ともに高成長を継続。岩盤ストック収益の拡大

## 売上高

前年同期比  
**31.9%増**

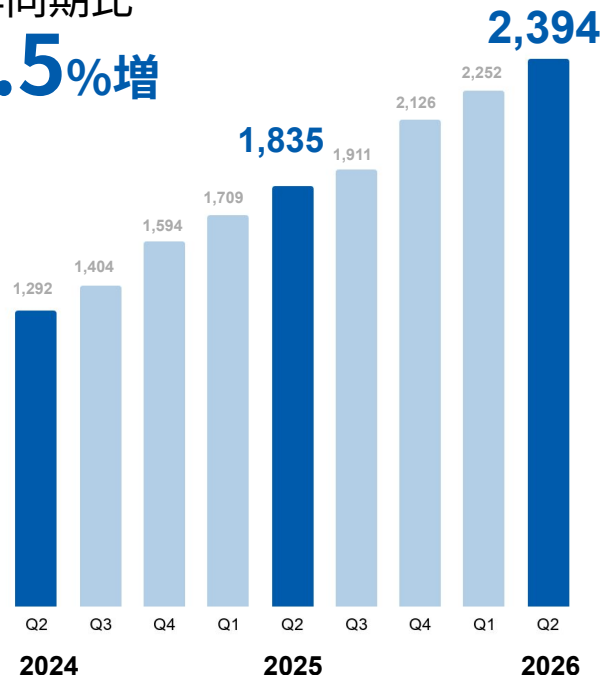
(百万円)



## ARR※1

前年同期比  
**30.5%増**

(百万円)



※1 Annual Recurring Revenue の略称。各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

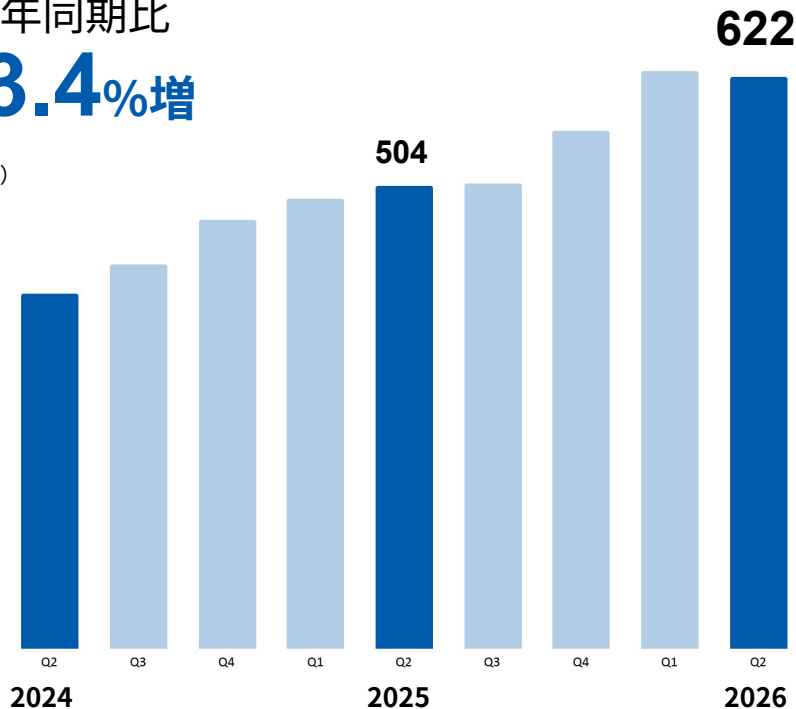
# 契約の送信数も堅調に増加。電子署名利用シーンも拡大

契約送信件数※2

前年同期比

**23.4%増**

(万件)



国内上場企業の  
**約82%が**  
利用中

累計 **5,000** 万件 送信達成

契約送信件数 **No.1**

※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）

※2 四半期毎の契約送信件数を集計。2025年第1四半期における大量のテスト送信（無料）を除外して集計。

※3 2026年6月末時点「GMOサイン」利用企業数3,204社と2026年6月末時点日本証券取引所の公式サイトで公表中の上場企業数3,897社から算出

# 電子公印とセキュリティ認証で自治体導入数でも**No.1**を目指す

自治体導入数

**267** ※



## 導入自治体（一部抜粋）

|     |     |     |     |     |      |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 東京都 | 北海道 | 大阪府 | 茨城県 | 群馬県 | 神奈川県 | 静岡県 |
| 福井県 | 滋賀県 | 岡山県 | 広島県 | 山口県 | 熊本県  | 大分県 |

## 取得済認証一覧

- ISO/IEC27001（情報セキュリティ）
- ISO/IEC27017（クラウドサービスセキュリティ）
- ISMAP登録
- SOC2 Type2保証報告書受領
- JIIMA認証

**LGWAN（総合行政ネットワーク）対応**

※ 2026年6月30日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

# 金融機関・不動産業界・小売業など多くの大手企業に導入

**MIZUHO** みずほ銀行

**大和証券**  
Daiwa Securities

**MUFG** 三菱UFJ銀行

よろこびがつなぐ世界へ  
**KIRIN**

**BMW GROUP**  
MINI

**LINEヤフー**

**kikkoman**

**Menicon**

**横浜銀行**

**東急リバブル**

**ORIX** オリックス生命

**Mizuno**

**TIPNESS** フィットネスクラブ  
ティップネス

**in 鹿島**  
KAJIMA CORPORATION

**ヤマト運輸**

**Francfranc**

**UNITED ARROWS LTD.**

「心躍る」を  
解き放つ **HIS**

**PASONA**

エステティック  
**TBC**

**GO**  
移動で人を幸せに。

**毎日コムネット**

**OPEN HOUSE**

**NEDO**

**三井住友トラスト不動産**

**DAISO**  
ダイソー

**CURRY HOUSE**  
**CoCo壱番屋**

**MISAWA** ミサワホーム

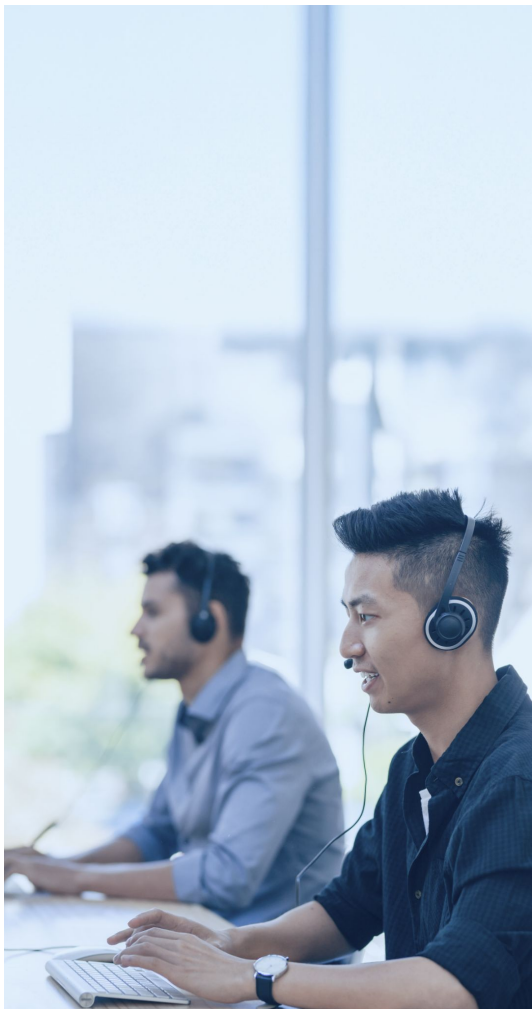
**KEIO** 京王電鉄

**CAINZ**

**YAMADA HOMES**

**YKK ap**

**H<sub>2</sub>O RETAILING**



## マネージドクラウドサービス

---



# AWSと戦略的協業契約（SCA）を締結、中堅・中小企業のDXを加速

SMBコンピテンシー等の認定パートナーとしての実績を土台に、AWSとの関係をSCAへ深化

## AWSとの連携で実現する提供価値

### ① 生成AIの安全な導入・活用を支援

ツール導入にとどまらず、データ統制・利用ガイドラインなどガバナンス設計まで一体提供

### ② クラウド移行を計画から運用まで支援

AWSの移行プログラム・アセスメントツールと連携し、計画～運用設計を一気通貫でサポート

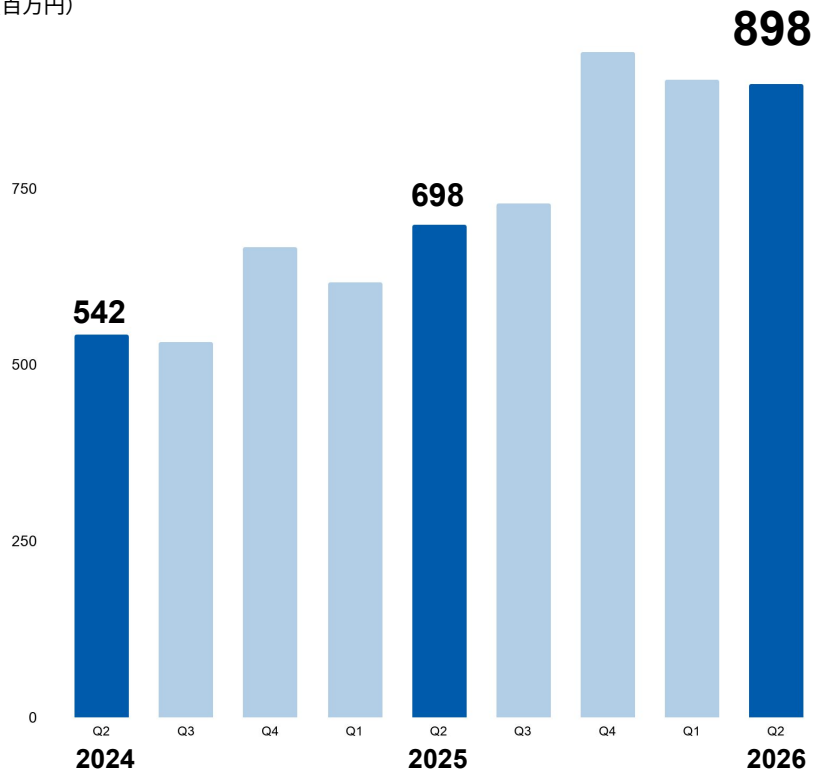
### ③ マネージドサービスによるセキュリティ・運用を強化

24時間365日体制で、限られた社内リソースでも安全なクラウド環境を維持

共同営業チャネルへのアクセスが強化され、新規リード創出の経路が拡大。  
クラウドインフラ事業の新たな成長ドライバーに

## 前年同期比で売上高成長を継続

(百万円)



売上高  
前年同期比  
**28.6%増**

| (百万円) | 2025 | 2026 | 増減率    |
|-------|------|------|--------|
| Q2    | 698  | 898  | +28.6% |

## 重点商材、CloudCREWは前期に引き続き高成長を維持 電子認証、海外売上の期ずれにより減益

### 売上高（累計）

**11,091** 百万円

前年同期比 **11.5%増**

### 営業利益（累計）

**585** 百万円

前年同期比 **1.5%減**

### 経常利益（累計）

**632** 百万円

前年同期比 **9.4%増**

### 重点商材売上高

GMOトラスト・ログイン

**31.1%増**

電子印鑑GMOサイン

**30.6%増**

※前年同期比(累計)

# 2040年、信頼できる社会インフラ企業へ

Next 2040

## 信頼を設計し、世界をつなぐ。

Designing trust. Connecting the world.

私たちは、インターネットが信頼できる情報でつながり、透明性のある世界を目指しています。  
それは、見えない信頼を、確かな技術で「設計」し、誰もが安心して使える仕組みにすること。  
信頼に満ちた社会インフラの発展に貢献し、この領域で世界シェアNo.1に挑みます。

コトをITで変えていく。



# 参考資料

# 参考資料目次

- 会社概要
- 企業理念
- 当社の強み
- 事業領域（主要サービス）
- サービス紹介
- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 通期業績予想
- 通期業績予想（セグメント別）
- 営業利益増減分析
- 販売管理費及び一般管理費の四半期推移
- Q2セグメント別予想対比
- GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信メディア一覧
- 免責事項

# GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

|        |                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 証券コード  | 3788（東証プライム）                                                                                         |
| 設立     | 1997年5月（当時：株式会社アイル）                                                                                  |
| 事業内容   | 電子認証・印鑑事業（盗聴・改ざん・なりすまし防止・ログイン認証強化、電子契約）<br>クラウドインフラ事業（クラウド・レンタルサーバー）<br>DX事業（AI・データ統合プラットフォーム、IoT関連） |
| 主要株主   | GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム：9449）<br>※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加                                        |
| 連結企業群  | 15社 連結12社（国内5社、海外7社）非連結3社（2026年6月末現在）                                                                |
| パートナー数 | 1,026名（2026年6月末現在）非連結含 正社員数のみ                                                                        |



# One GlobalSign Way

企業理念

## Mission

私たちの使命

## コトをITで変えていく

この地球の果てから果てまで、すべての人に私たちのサービスを届けたい。  
どんなに優れたITサービスでも、一部の人にしか使えないのでは意味がありません。

もっと気軽に、もっとわかりやすく。ありとあらゆる人々に。

新たな体験価値に出会って欲しい。

それは、私たちの創業時からの変わらぬ願いです。

ITのチカラが私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。

その変化がアタリマエになった時、どんな社会が実現するのでしょうか？

コトをITで変えていく。

便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。

それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

## Value

私たちの価値観

## ワクワク

## Vision

私たちの目指す姿

## One & 1st

### One

ひとつになろう。

インターネットという広大な空の下、新たに生まれた事業は、それぞれに大きくなってきました。

これからも画期的な価値を社会に提供していきたい。

そのためにひとつという思いを共有し、シナジーを生み出せれば、もっと面白いこと、もっとすごいことが、きっとできる。

### 1st

失敗を恐れない。

はじめては誰でもこわい。

誰も挑んだことがないところに、

ワクワクがある。

誰もやったことのないコト見慣れたものの中にある誰も気づいていないコトこれ

までも、これから、

私たちは意欲的に「はじめて」を

追い求め、日本初、世界初を

生み出していきます。

# デジタル社会の 信頼と安全を支える インフラ企業

**GMO** グローバルサイン・HD  
● GlobalSign

私たちは、電子認証を中心に、クラウド、レンタルサーバー、DX、電子印鑑など、  
社会のデジタル化を下支えするサービスを展開しています。

“見えないところで信頼を設計する”技術力を強みに、  
安全で透明性のあるインターネット社会の実現に貢献します。

## 価値成長を生む、当社の強み

1. 国内シェアNo.1、世界が信頼する**電子認証局**を運営
2. 持続的成長を支える18の**岩盤ストック収益**
3. 230超の国と地域で導入実績、**グローバル基盤**

# 価値成長を生む、当社の強み | 1. 信頼の電子認証局

国内  
シェア

No. 1 ※1

日本発、世界が信頼する電子認証局 ※2

※1 2025年2月時点 英Netcraft社「SSL Survey by Hosting Country」有償SSL認証局ルート別 ※2 英Netcraft社「Netcraft SSL Survey」調べ 有償発行枚数

運用実績 **30年**

ウェブブラウザからの高い信頼

GlobalSign  
ルート証明書  
搭載率

99.9% https://www

Google

Microsoft

Mozilla Firefox

GlobalSignの証明書を使用した電子署名数

600 月間 万

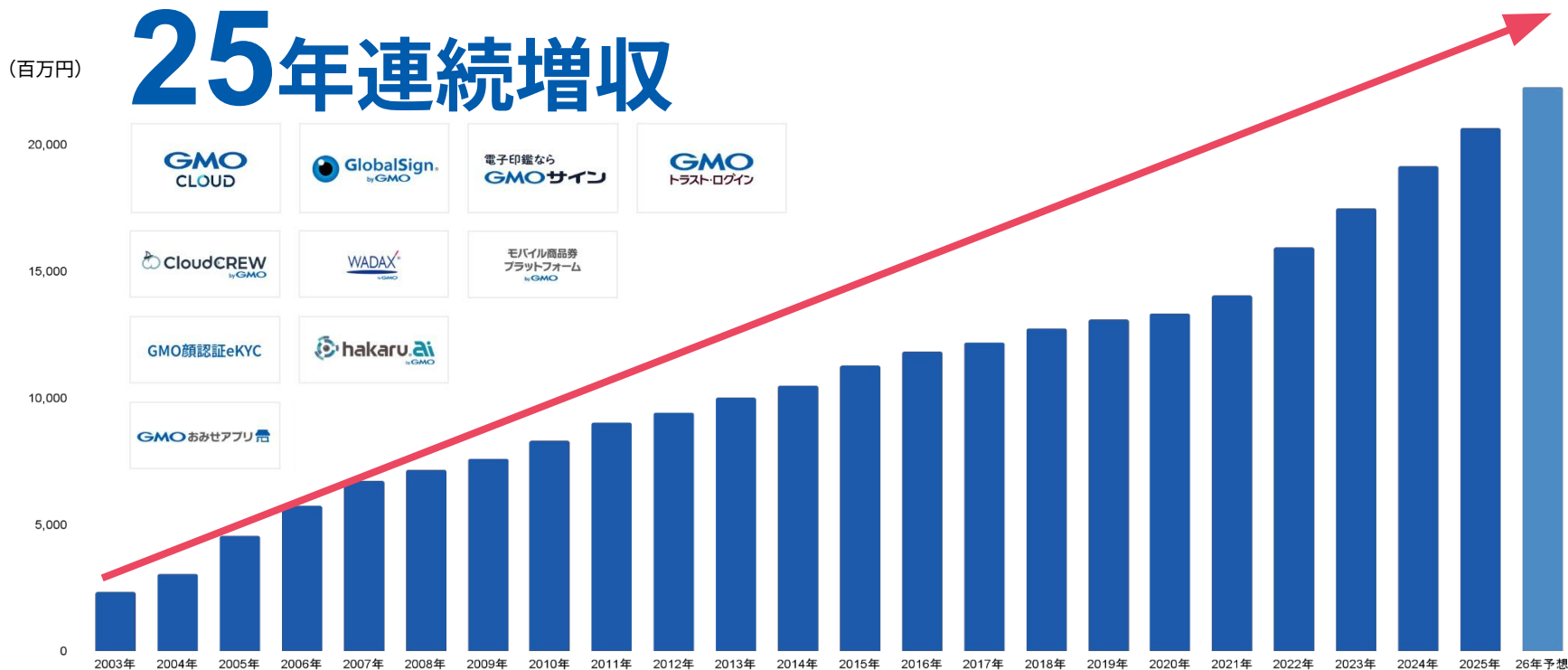
電子印鑑なら  
GMOサイン

docusign  
Bringing Agreements to Life

Adobe Acrobat Sign

価値成長を生む、当社の強み | 2. 岩盤ストック収益

# 持続的成長を支える18のストック型事業



## 価値成長を生む、当社の強み | 2. 岩盤ストック収益

健全な財務体質と、  
成長を支える  
キャッシュ創出力

自己資本比率

54.6%

ネットキャッシュ

63億円

営業キャッシュフロー

28億円

営業キャッシュフローマージン  
13.7%

自己資本比率 : 「純資産÷総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。

ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。

営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

※2025年12月末現在



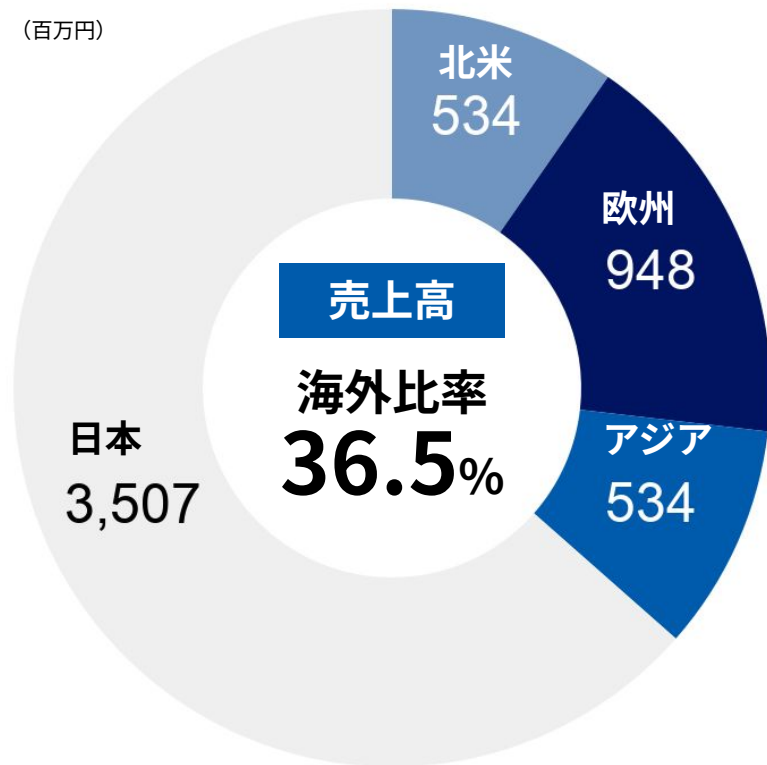
## 230を超える 国と地域で サービス導入実績



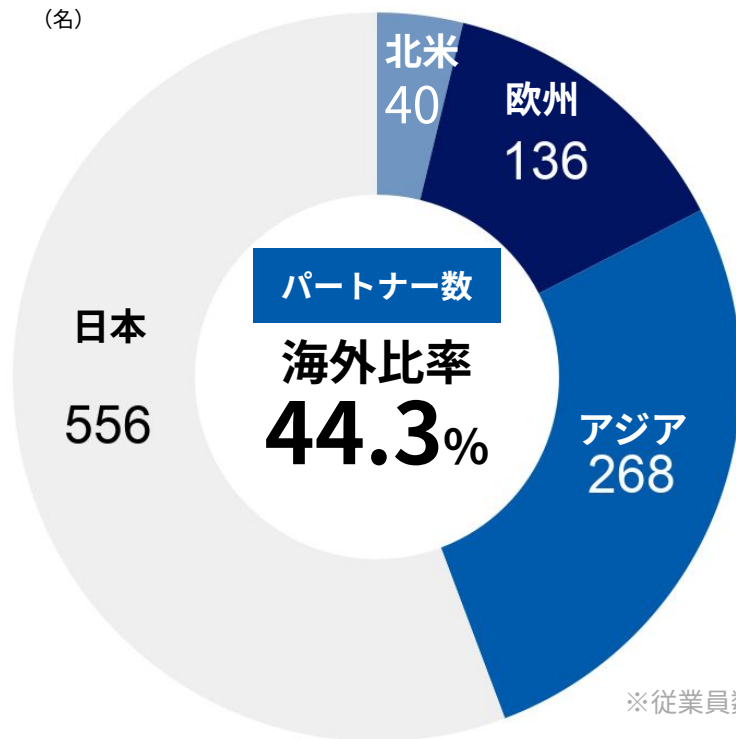
## 価値成長を生む、当社の強み | 3. グローバル展開

### グローバル基盤を活かし、さらなる成長ステージへ

(百万円)



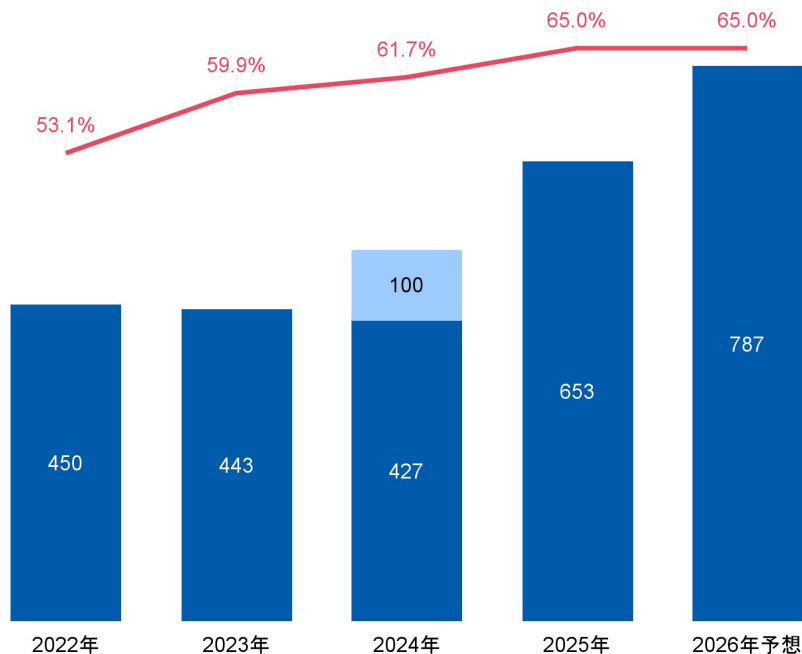
(名)



※従業員数

# 株主還元の拡充

- 株主還元安定化のため、株主資本配当率（DOE）基準（配当下限）を追加導入。
- 自己株式の取得を実施（取得期間は2025年11月17日～2026年1月30日）



配当性向  
65%以上

- 総還元性向 (%)
- 自己株式取得額 (百万円)
- 配当総額 (百万円)

# 事業領域（主要サービス）

セキュリティでインターネットの安全を支える

## 電子認証・印鑑事業

電子認証・ID管理



GMOトラスト・ログイン

電子印鑑なら  
GMOサイン

## クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤の提供



GMO CLOUD

AI・クラウド活用で  
企業のDXを支援する

## DX事業

より便利で簡単な  
AI・クラウドサービスの提供

JOINT *Ai* Flow  
by GMO



# 電子認証を活用したSSLサーバー証明書

## 電子認証とは

「誰が」「何を」したかを証明する、認証の基本技術です。

信頼できる第三者（電子認証局）が、人や組織が**本物であることを確かめ、証明書を発行**します。万が一、問題があれば、すぐに無効化もします。

当社はこの仕組みを活用し、見えない相手とも安心してつながれる「**インターネットの防犯システム**」を提供しています。

解説！

## SSLサーバー証明書とは

Webサイトが“本物の会社”であることを証明し、安全な通信を保証する仕組みです。

URLが「https://」で始まり、鍵マークが表示されているのは証明書の存在によるものです。

GMOグローバルサインは、この証明書を提供する**国内No.1・世界トップ4の電子認証局**です。



# インターネット通信の安全を支える3つの柱を提供

## 電子認証局

信頼基盤の提供

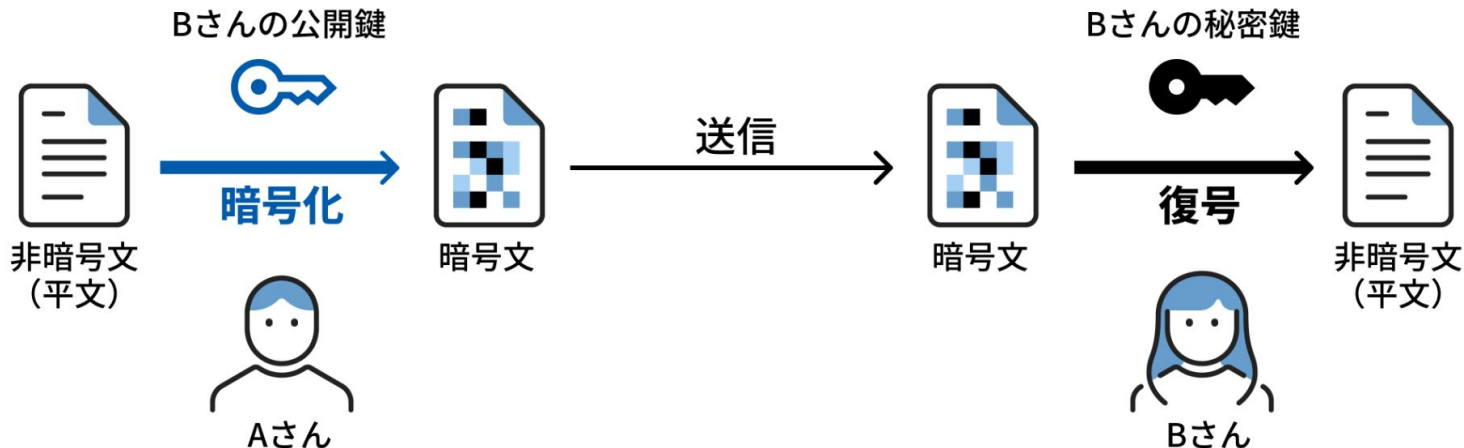
## PKI（公開鍵暗号基盤）

暗号技術による  
安全な通信の仕組み

## SSLサーバー証明書

データを安全にやり取り  
するための通信ルール

### PKI(公開鍵暗号基盤) の仕組み



# 12,000社以上が導入、ログインIDはひとつだけ

## シングルサインオン（SSO）とは

解説！

一度のログインで、複数のサービスを安全に利用できる仕組みです。

これまで個別に入力していたIDやパスワードを統一することで、利用者の利便性を高めるとともに、企業のセキュリティ管理を強化します。社員が社内外のさまざまなクラウドサービスを使ういま、業務効率化と情報漏えい防止の両面で欠かせない技術となっています。

## 増え続けるIDを一言管理、セキュアな業務環境を

一度のログインで複数のサービスを安全に使えるシングルサインオンサービスです。

10,000社以上の導入実績、9,000以上のアプリと連携。

ISO/IEC 27001および27017の国際認証を取得し、過去12か月の稼働率99.99%という高い安定性を実現。さらに、SSL認証局として30年以上の実績を持つGlobalSignのセキュリティ運用ノウハウを基盤としています。



# GMO トラスト・ログイン

# 日本で最も使われている電子契約サービス

## 電子契約サービスとは

いままで紙にハンコで押印していた業務を電子化し、業務効率化と印紙税などのコスト削減ができるサービスです。  
「だれ」が「いつ」「何に」署名をしたかの証跡を、改ざんができない形でPDF文書に書き込む技術です。この技術を活用し、契約シーンのみにしぼられず、公文書交付や、卒業証明書、医療同意書などのシーンへの活用がはじまっています。

解説!

## 確かな署名×豊富な機能×料金比較最良

電子印鑑GMOサインは、「誰が署名したか」を第三者が証明する“確かな署名”と、利便性の高い署名を使い分けられる電子契約サービスです。

当社の電子署名技術、タイムスタンプや認証技術を自社の技術資産を活用することで、安価かつ高品質なサービスを提供しています。

社会の業務効率化と紙削減に貢献し、日本で最も使われている電子契約サービスへと成長しています。



ARR  
年間成長率  
30~45%

電子印鑑なら  
**GMOサイン**

# 電子印鑑GMOサインが提供する信頼

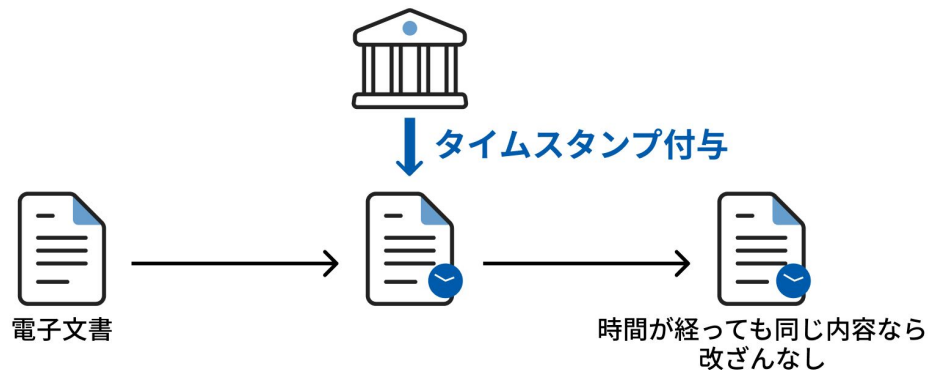
電子署名として一般的なメール認証（立会人型）に加え、実印相当の高い信頼性のある当事者型署名も提供。

非改ざん性を保証するタイムスタンプを標準提供。自社で電子認証局を運営しているからこそできる、信頼性の高い電子契約を提供しています。

## 電子契約の「安全性」確保



## タイムスタンプの仕組み



## さらなるセキュリティ需要にも対応

ネットのセキュリティも

**GMO**

すべての人に安心な未来を

診断

相談

運用

当社サーバーの他、AWS・Google Cloudにも対応する、クラウドサーバーのセキュリティマネジメントサービスをご提供

年々高まるセキュリティ需要に対応

**GMO CLOUD**

 **CloudCREW**  
by **GMO**



- Public Sector Solution Provider
- Public Sector Solution Provider
- Well-Architected Partner Program

日本初のレンタルサーバーとしてスタートし、クラウド・レンタルサーバーを中心に、多様なニーズに応えるラインナップを展開し、サーバーの設定や運用を代行するサービスも提供しています。

AWSやGoogle Cloudなど複数のクラウド環境を対象に、運用を代行するマネージドサービスを提供。セキュリティ対策に関するご相談にも幅広く対応しています。

# なりすましメールを防ぐVMC（企業ロゴ所有証明書）

## VMC（企業ロゴ所有証明書）とは

近年増加の一方の、**企業になりすました悪意あるフィッシング詐欺メールなどを防止**するため、メールの送り主が確かな企業からであることを証明します。

このVMCにより、メールの受信者は安心して企業からのメールを受け取ることができるようになります。

解説！

## なりすましメール対策支援サービス

VMCを使って、企業からのメールにロゴを表示することをBIMI（なりすましメール対策設）といいます。

このBIMI導入するためにはサーバー・DNSなどの専門的な知識が必要となります。  
この課題を解決すべく、インターネットインフラ運用のノウハウある当社が、**VMCの発行からロゴを表示させる設定までをワンストップで対応**するサービスを提供開始しました。



グローバルサインは、  
**世界で3社、国内企業唯一、**  
VMC証明書を発行できる電子  
認証局です。

高い実績と信頼性が必要となる  
ため、新規参入は難しく、  
競合は限られています。

あなたの会社、  
“なりすまし”  
されていませんか？

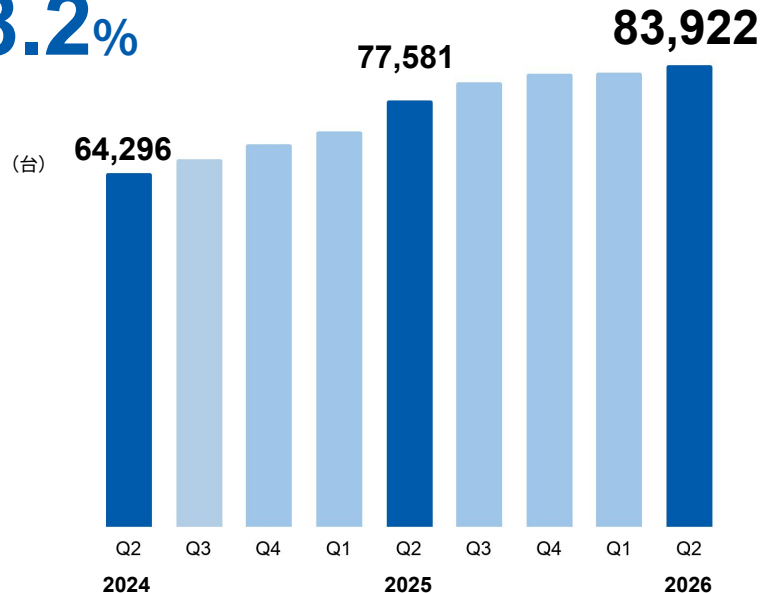


# 高齢化による人手不足を背景に、点検現場の“身体拡張テクノロジー” 活用が広がり、売上が堅調に推移

登録メーター数

前年同期比

**+8.2%**



契約企業（一部抜粋）

 株式会社 菱サ・ビルウェア

 人に、街に、明るい未来を  
関電ファシリティーズ

  
神戸製鋼グループ

  
ROHM  
SEMICONDUCTOR

 TAISEI

 B stem  
株式会社 ハリマビステム

 SEiBI

  
TOKAI  
BUILDING SERVICE  
藤海ビルサービス株式会社

 信頼と実績の総合ビルマネジメント  
NTK株式会社

 JFE

 企画開発・設計・施工・管理  
株式会社 アドバンス・シティ・プランニング

# 連結貸借対照表

| 単位：百万円      | 2025年12月末 | 2026年6月末 | 増減率    |
|-------------|-----------|----------|--------|
| 流動資産        | 12,901    | 12,864   | △0.3%  |
| （現金預金）      | 8,936     | 9,269    | +3.7%  |
| （売掛金及び契約資産） | 2,894     | 2,574    | △11.1% |
| 固定資産        | 6,061     | 6,675    | +10.1% |
| （ソフトウェア）    | 4,275     | 4,421    | +3.4%  |
| （投資有価証券）    | 306       | 358      | +17.0% |
| 資産合計        | 18,963    | 19,540   | +3.0%  |
| 負債          | 8,612     | 9,175    | +6.5%  |
| （契約負債）      | 2,922     | 3,310    | +13.3% |
| （借入＋リース債務）  | 2,695     | 2,886    | +7.1%  |
| 純資産         | 10,350    | 10,364   | +0.1%  |
| （株主資本）      | 8,227     | 8,037    | △2.3%  |
| （その他包括利益）   | 2,100     | 2,299    | +9.5%  |
| （非支配株主持分）   | 22        | 27       | +22.7% |
| 負債・純資産合計    | 18,963    | 19,540   | +3.0%  |

（注）GMO AIコネクト株式会社につきましては、みなし取得日を当第2四半期末としているため、当期は貸借対照表のみを連結しております。

# 連結損益計算書

| 単位：百万円        | 2025年Q2 | 2026年Q2 | 増減率    |
|---------------|---------|---------|--------|
| 売上高           | 9,944   | 11,091  | +11.5% |
| 売上原価          | 4,073   | 4,786   | +17.5% |
| 売上総利益         | 5,870   | 6,304   | +7.4%  |
| 販売費及び一般管理費    | 5,276   | 5,719   | +8.4%  |
| (人件費)         | 2,997   | 3,160   | +5.4%  |
| (プロモーション費)    | 660     | 761     | +15.3% |
| (減価償却費)       | 390     | 370     | △5.2%  |
| 営業利益          | 593     | 585     | △1.5%  |
| (営業利益率)       | 6.0%    | 5.3%    | —      |
| 経常利益          | 577     | 632     | +9.4%  |
| 税金等調整前当期純利益   | 577     | 614     | +6.3%  |
| 法人税等          | 162     | 120     | △25.9% |
| 親会社に帰属する当期純利益 | 413     | 490     | +18.6% |

# 通期業績予想

| (百万円)           | 2025年12月期<br>(実績) | 2026年12月期<br>(予想) | 2025年比  |
|-----------------|-------------------|-------------------|---------|
| 売上高             | 20,670            | 22,286            | + 7.8%  |
| 営業利益            | 1,475             | 1,622             | + 10.0% |
| 経常利益            | 1,435             | 1,589             | + 10.7% |
| 親会社帰属利益         | 1,005             | 1,052             | + 4.7%  |
| 1株当たり<br>純利益(円) | 87.55             | 91.79             | -       |

# 通期業績予想（セグメント別）

## 売上高

| セグメント        | 2025年12月期<br>(実績) | 2026年12月期<br>(予想) | 2025年比 |
|--------------|-------------------|-------------------|--------|
| 電子認証・<br>印鑑  | 13,016            | 14,353            | +10.3% |
| クラウド<br>インフラ | 7,279             | 7,482             | +2.8%  |
| DX           | 919               | 1,046             | +13.8% |
| 消去又は<br>全社   | △543              | △597              | —      |
| 連結計          | 20,670            | 22,286            | +7.8%  |

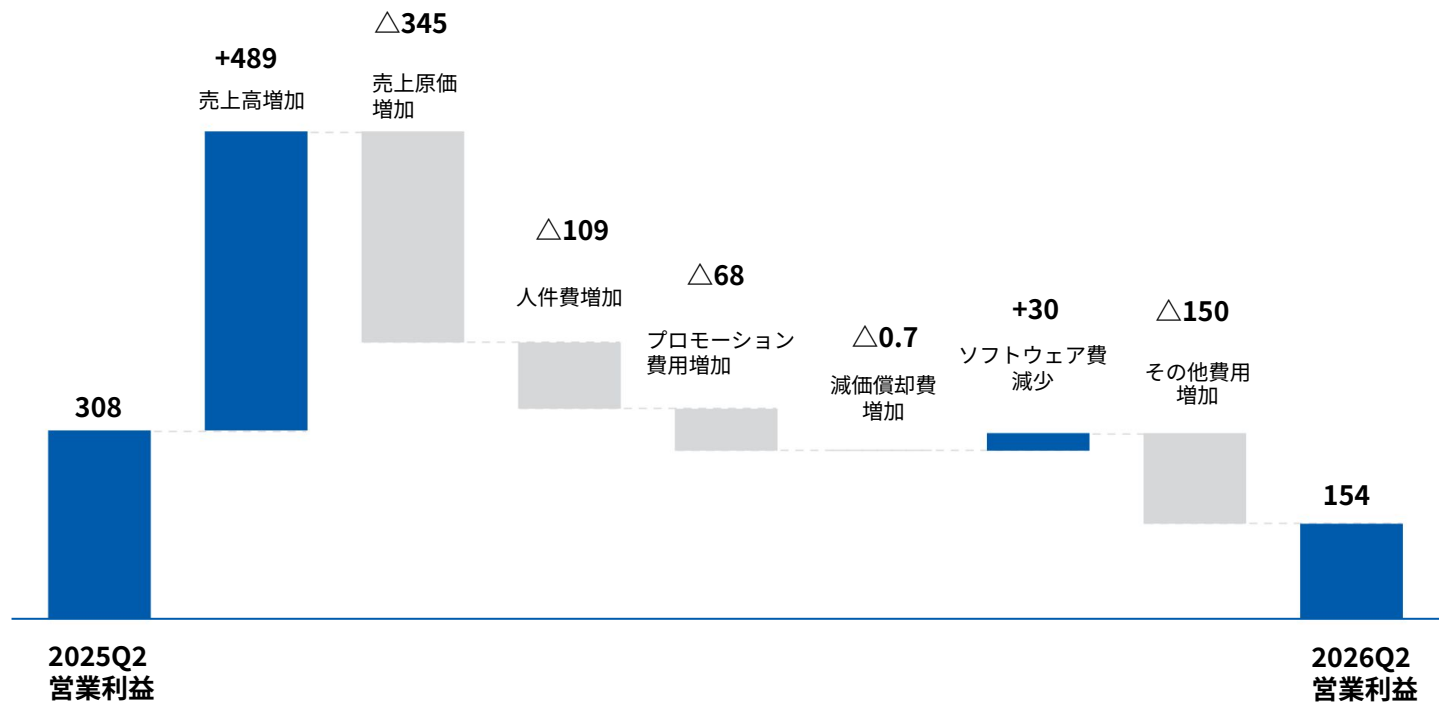
## 営業利益

(百万円)

| セグメント        | 2025年12月期<br>(実績) | 2026年12月期<br>(予想) | 2025年比 |
|--------------|-------------------|-------------------|--------|
| 電子認証・<br>印鑑  | 1,343             | 1,612             | +20.0% |
| クラウド<br>インフラ | 194               | 0                 | —      |
| DX           | △89               | △48               | —      |
| 消去又は<br>全社   | 26                | 58                | —      |
| 連結計          | 1,475             | 1,622             | +10.0% |

# 営業利益増減分析

(百万円)

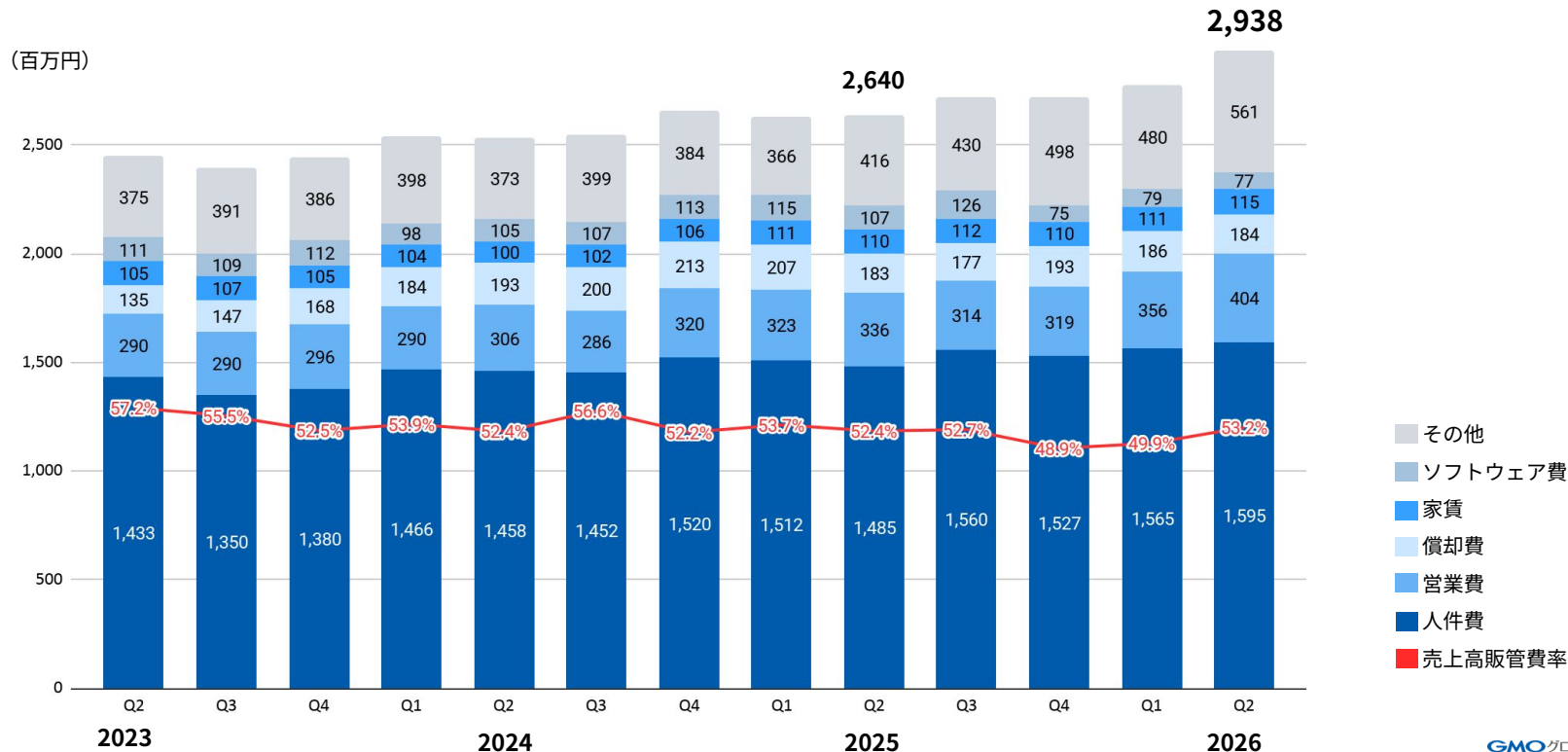


# 販売管理費及び一般管理費の四半期推移

販管費：29億3,800万円（対前年同期比 +2億9,800万円 +11.3%）

└人件費：15億9,500万円（対前年同期比 +1億900万円 +7.4%）

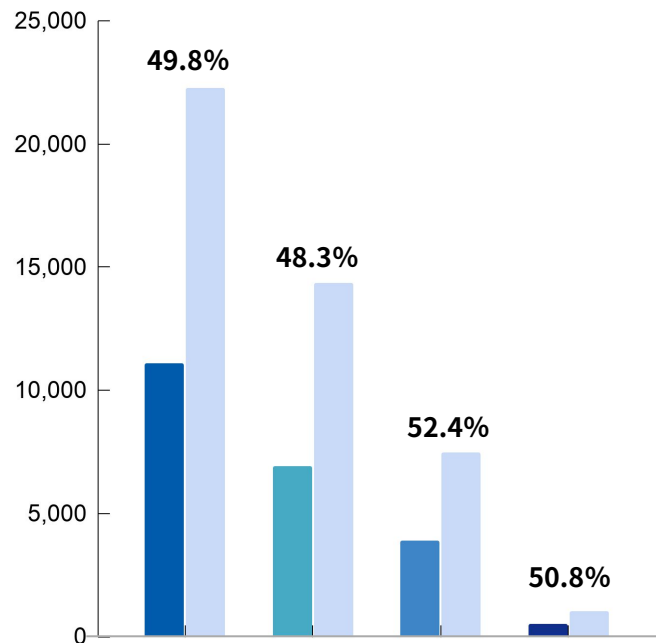
└営業費：4億400万円（対前年同期比 +6,800万円 +20.2%）



# Q2セグメント別予想対比

## 売上高

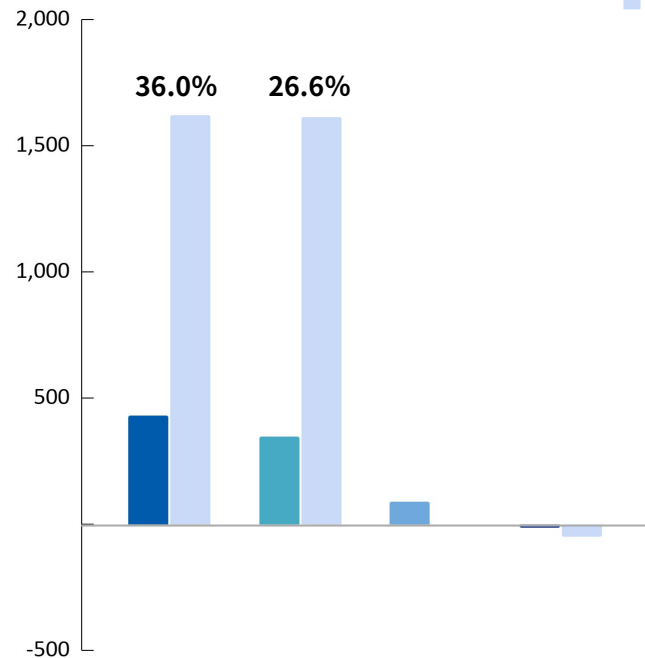
(百万円)



## 営業利益

(%は進捗率)

■ 累計実績  
■ 通期予想



# GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信

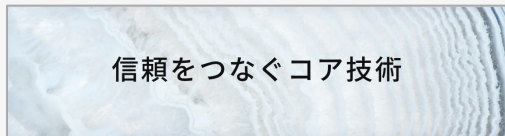
“わかりやすく”をモットーに、さまざまなコンテンツを発信しています！



数字で見る当社、あゆみ。そして未来へ。  
3分でわかるGMOグローバルサイン・HD



電子認証局って何するところ？生活のあちこちで活用されている、電子証明書をご紹介します



少し難しい当社のコア技術を解説しています。また、コア技術を活用した未来の研究へと続きます。



長期ビジョン-Next2040  
私たちは信頼を設計し、世界をつなぎます



公式チャンネル  
@GMOGSHD\_JP



公式X  
@GMOGSHD\_JP



公式IR note



最新IR情報をお届け！  
IRメールマガジン

登録は  
こちら



GMOグローバルサイン・HD  
GlobalSign

コーポレートサイト



# 免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

当資料に関するお問い合わせ先

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 社長室

お問い合わせフォーム：<https://form.gmogshd.com/contact/ir/>